

科目名	アート&デザイン		Subject	Art & Design				
サブタイトル	平面・立体・デザインの美術作品制作および美術の歴史や現状の考察							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
演習	1 単位	30 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	◎		○	○		
教員名	栗本 佳典・林 美喜			メールアドレス	yoshinori.kurimoto@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	×							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
美術の歴史や現状を幅広く学び知識の幅を広げるとともに多様な価値観や考え方を理解し、美容をはじめ様々な状況で必要とされる造形やデザインの役割、表現方法について学びます。デッサンでは、物の形や構成を観察し正しく描く方法について演習を行うことで表現する技術を身につけ、デザインではデジタル画像と平面、立体との関係について演習を行いながら学びます。毎回、演習課題を自分で判断しながら作成することで、課題解決能力や技能、美意識をしっかりと身につけます。また、自己の作品について分析し他者に解説するためのプレゼンテーションを行います。ヘアスタイル作成やネイルなど、美や形を扱う授業の内容に大きく関わります。 [オムニバス方式]								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	○	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	各時代の美術作品の価値や考え方を関係づけることができ、美術作品を工夫して制作することができる。							
DP3	演習課題を自分で判断しながら作成することで、課題解決できる。							
DP4	美術の歴史や現状を幅広く学ぶことで、多様な価値観や考え方を理解し述べることができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	なし							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	10%	80%	10%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
毎回作品制作を行いますので、向上心をもって取り組んでください。 また、時間外学習としては予習復習に限らず、美術館での作品鑑賞やネットでの作品閲覧などの時間も含まれます。								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
なし								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション 芸術と表現について学ぶ	芸術と表現について認識を深め、自己の表現につなげることができる。	復習：芸術の各分野についての振り返りとまとめ	60 分
第 2 回	日本美術と西洋美術について学ぶ	日本美術と西洋美術の特徴を知り、両方を比較し考察することができる。	復習：日本美術と西洋美術についての振り返りとまとめ	60 分
第 3 回	美術史から見るさまざまな表現について学ぶ	歴史上の様々な表現を知り、自己の表現につなげることができる。	復習：歴史上の各表現についての振り返りとまとめ	60 分
第 4 回	基礎デッサンについて学ぶ	形の中にある構造を捉え、基本的な描写をすることができる。	復習：基礎デッサンについて振り返り描写する	60 分
第 5 回	人物デッサンについて学ぶ	人物の形やバランスを捉え、基本的な描写をすることができる。	復習：人物デッサンについて振り返り描写する	60 分
第 6 回	人物デッサンのヘアスタイルについて学ぶ	人物の形やバランスに加えて、ヘアスタイルを描写することができる。	復習：人物デッサンのヘアスタイルについて振り返り描写する	60 分
第 7 回	形を創造する想定デッサンの形や明暗について学ぶ	平面から立体を作成する力を養い、回転図形や想定デッサンを制作することができる。	復習：想定デッサンについて振り返り描写する	60 分
第 8 回	現代の表現（絵画、彫刻、デザインなど）について学ぶ	現代の表現を知り美に対する幅を広げ、さまざまな作品を自分なりに評価し、試作することができる。	復習：現代の表現について振り返りまとめる	60 分
第 9 回	デザイン表現とデザイン領域について学ぶ	デザインと呼ばれるものはどのように身近に存在するのか、又、どのような種類があるのかを知り、表現につなげることができる。	復習：デザイン表現と領域についての振り返りとまとめ	60 分
第 10 回	デザインとデジタルと物の見え方について学ぶ	デザインに必要なアイディアスケッチ発想法を知り、表現するために見た物をどう再現するか、又、されているかを学び実践できる。	復習：デジタルと物の見え方についての振り返りとまとめ	60 分
第 11 回	デザインとデジタルと平面上の立体物について学ぶ	ゲームやアニメなどを見るとときに平面画面が立体的に見えるのはなぜかを知るとともに、立体図法を学び実践できる。	復習：平面上の立体物についての振り返りとまとめ	60 分
第 12 回	画像と実像とスケッチについて学ぶ	友人の顔を写真に撮ってスケッチをする事と、直接見てスケッチする事で、その差異を知り応用することができる。	復習：画像と実像とスケッチについての振り返りとまとめ	60 分
第 13 回	画像と実像と動画について学ぶ	ごく基本的な動画の基本を学び実践できる。	復習：画像と実像と動画についての振り返りとまとめ	60 分
第 14 回	実像表現と紙による立体表現について学ぶ	紙を用いてイメージに沿った立体表現を学び実践できる。	復習：紙による立体表現についての振り返りとまとめ	60 分
第 15 回	自己作品のプレゼンテーション	自己の作品について分析し、他者に解説することができる。	復習：他者の発表の振り返りとまとめ	60 分